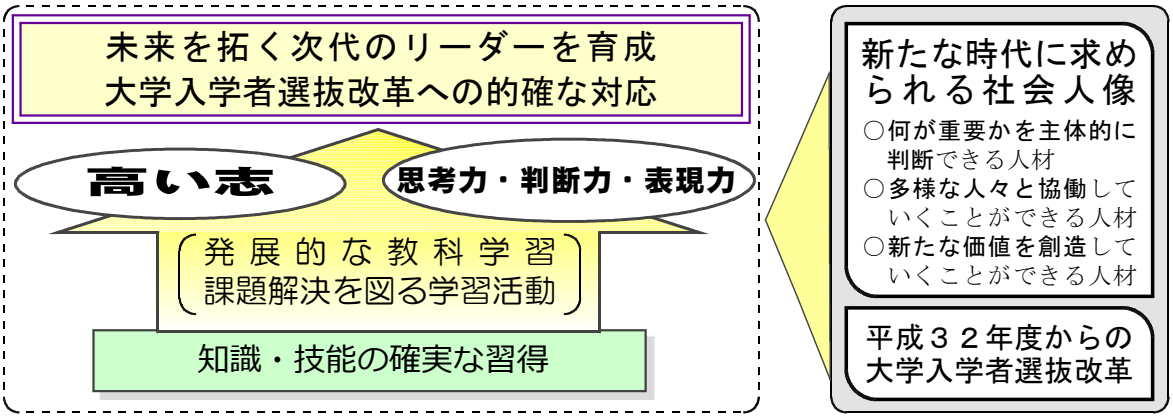
平成３０年度　探究科の導入に係る学科改編について

１　学科改編について

対　象　校	萩高等学校
内　　容	○「探究科」(「人文社会科学科」と「自然科学科」) を導入 ○「理数科」を募集停止
改編の理由	○　変化の激しい時代の中で、次代を担うリーダーとして活躍できる人材を育成するとともに、平成３２年度から予定されている、大学入学者選抜改革に的確に対応するため、知識・技能の習得のみならず、思考力・判断力・表現力を高め、主体的・能動的に課題解決を図る学習を重視する学科である探究科を導入する必要がある。
学科の目標	【新しい時代に求められる探究力の育成】 　自ら課題を発見し、その解決をめざして他者と協働しながら、学習成果等を様々な形で表現していく学習に積極的に取り組むことにより、これからの時代に必要な情報活用能力や課題解決能力、表現力、コミュニケーション能力等を育む。 【大学等での学修の基盤となる学力の育成】 　質の高い深い学びを通し、知識・技能の真の理解、深い理解を図るとともに、専門的な研究活動や教科の発展的な学習を推進することにより、思考力や判断力、表現力などを高め、大学等における高度でより能動的な学修につながる学力を育む。

◆ 探究科のねらい【概念図】



２　萩高校探究科の学習について

両学科とも、「課題の設定」「情報の収集・分析」「考察・判断」「まとめ・表現」等の学習活動を積極的に展開することにより、学習内容のより深い「理解・定着」を図ることを重視する。

年　次	学習の流れ	学習の特色
１年次	両学科で共通の科目を学習	◆未来を拓く高い志と学力を育む取組を実施 大学と連携し、大学での学問や研究を体感することで学問に対する意欲や将来への志を高め、高度でより能動的な学修につながる学力を育む 例 *大学サテライト講座（１年次）* 大学の先生を高校に招き、数学・物理・化学などの模擬授業を実施 例 *大学での模擬授業（１年次）* 大学を訪問し、大学の施設を用いて模擬授業や実験等を実施 例 *大学での宿泊研修（２年次）* 教育学部で科学的に探究する方法を学んだり、様々な分野の研究室を訪問したりする１泊２日の研修を実施
２年次 ３年次	人文社会科学科・自然科学科それぞれで、より専門的な科目を学習	◆課題を解決していく力や表現力等を育成する科目・講座を開設 情報を分析して自分の考えを論理的にまとめる力や、プレゼンテーション能力等を育む活動を行う 例 *プレゼンテーション講座（１・２年次）* 国際プレゼンテーション協会から専門家を招き、プレゼンテーションの実践的な技法を学ぶ講座を開催 例 *人文社会科学科：地域文化(仮称)* *アクティブ・リサーチ(仮称)* *自然科学科：課題研究* 自ら研究テーマを設定し、研究計画の立案や調査・実験、レポート作成、発表会でのプレゼンテーションなどを行う ◆数学・理科・英語において、専門的な内容を扱う科目を開設 より高度な内容を含む科目を設定し、発展的な学習を行うことで、高い学力を身に付ける 例 *理数数学、理数化学、総合英語、異文化理解*

各科目の学習や講座等において（体験的・協働的・課題解決的）な活動を充実